

令和 8 年度

第 1 回 帯広市地域公共交通活性化協議会 次第

令和 8 年 6 月 3 0 日

1 議事

(1) 報告事項

- 報告第 1 号 令和 7 年度事業報告
- 報告第 2 号 令和 7 年度収支決算
- 報告第 3 号 令和 7 年度監査報告
- 報告第 4 号 帯広圏 1 市 3 町における令和 7 年度事業報告
及び令和 8 年度事業計画

(2) 協議事項

- 議案第 1 号 令和 7 年度帯広市地域公共交通計画の取組状況及び評価
- 議案第 2 号 令和 8 年度事業計画案
- 議案第 3 号 令和 8 年度収支予算書案
- 議案第 4 号 令和 9 運行年度帯広市地域内フィーダー系統確保維持計画策定

《配付資料》

- 【資料 1】出席者一覧
- 【資料 2】令和 7 年度事業報告
- 【資料 3】令和 7 年度収支決算書
- 【資料 4】令和 7 年度監査報告書
- 【資料 5】令和 7 年度地域生活圏形成リーディング事業成果概要
- 【資料 6】令和 7 年度交通計画取組状況
- 【資料 7】令和 8 年度事業計画（案）
- 【資料 8】令和 8 年度収支予算書（案）
- 【資料 9】令和 9 運行年度帯広市地域内フィーダー系統確保維持計画書

令和8年度 帯広市地域公共交通活性化協議会 構成員一覧

資料 1

所 属	職 名	氏 名	備考
十勝バス株式会社	取締役執行役員 事業本部長	吉田 昌人	
北海道拓殖バス株式会社	業務部長	小森 明仁	
大正交通有限会社	代表取締役	道見 誠一	
毎日交通株式会社	専務取締役	千葉 和也	欠席
北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社 帯広駅	駅長	尾形 純	欠席
十勝地区バス協会	事務局長	寺山 康浩	代理出席 北海道拓殖バス 営業課長 中村 優太
十勝地区ハイヤー協会	専務理事	塚本 俊二	
北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸 企画専門官	徳田 陽介	
北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	議長	皆川 義則	
十勝地区バス労働組合連絡会	代表	久保 真司	代理出席 副代表 越智 章宏
川西地区町内会連絡協議会	会長	平山 明	
大正地区町内会連絡協議会	会長	井上 慎也	欠席
北海道 十勝総合振興局 地域創生部 地域政策課	課長	牧村 匠太郎	監査
北海道開発局 帯広開発建設部 道路計画課	課長	佐々木 一靖	代理出席 上席道路専門官 木村 光博
北海道 十勝総合振興局 帯広建設管理部 地域調整課	課長	赤塚 靖	
帯広警察署 交通第一課	課長	高谷 政伸	
帯広市 都市環境部	部長	篠原 祥一	会長
帯広市 経済部観光交流室観光交流課	課長	古井 健太郎	
帯広市 学校教育部教育総務室企画総務課	課長	高橋 肇	欠席
帯広市 市民福祉部地域福祉室地域福祉課	課長	齋藤 周平	
帯広市 市民福祉部福祉支援室介護高齢福祉課	課長	阿部 恭子	
帯広市 経済部商業労働室商業労働課	課長	高木 克康	
帯広市 都市環境部環境室	室長	岡田 剛	

【事務局】 帯広市 都市環境部 都市建築室 都市政策課	室長	川角 健一	
	課長	中田 英二	
	課長補佐	中島 康次	
	係長	高橋 和也	
	主査	近藤 陽香	
	主任補	森 壮大	
	主任補	関 泰伸	
	係員	大場 悠斗	

令和 7 年度 事業報告

1 モビリティ・マネジメント施策の展開

自発的な公共交通利用を促すモビリティ・マネジメントの取組として、中高生・転入者及び高齢者に向けたモビリティ・マネジメントツールを作成・配布した。

- ・中高生向け…市内中学 3 年生及び高校 1、2 年生を対象として、各学校を通じて配布
- ・転入者向け…戸籍住民課窓口を設置
- ・高齢者向け…介護高齢福祉課窓口、地域交流サロン、地域包括支援センター等を通じて配布

2 協議会の開催

- 令和 7 年 5 月 20 日 第 1 回協議会
議案第 1 号 十勝バスダイヤ改正に関して
- 令和 7 年 6 月 26 日 第 2 回協議会（書面協議）
報告第 1 号 令和 6 年度事業報告
報告第 2 号 令和 6 年度収支決算
報告第 3 号 令和 6 年度監査報告
議案第 1 号 令和 6 年度帯広市地域公共交通計画の取組状況及び評価
議案第 2 号 帯広市地域公共交通活性化協議会財務規程の改正
議案第 3 号 令和 7 年度事業計画案
議案第 4 号 令和 7 年度収支予算案
議案第 5 号 令和 8 運行年度帯広市地域内フィーダー系統確保維持計画策定
- 令和 7 年 10 月 24 日 第 3 回協議会（書面協議）
報告第 1 号 北海道拓殖バス㈱が運行する乗合バスの運賃改定に係る意見募集について
- 令和 8 年 1 月 15 日 第 4 回協議会（書面協議）
議案第 1 号 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の事業評価について

令和7年度 収支決算書

収入の部

(単位:円)

款	項	目	当初予算額	予算現額	決算額	増 △ 減	備 考
負担金	負担金	負担金	0	0	0	0	令和6年度繰越金があるため令和7年度は負担金を徴収せず。
諸収入	雑入	雑入	244,669	244,669	244,669	0	前年度繰越金 244,669円
補助金	補助金	補助金	4,125,000	4,125,000	3,368,000	△ 757,000	地域内フィーダー系統確保 維持費国庫補助金 3,368,000円
計			4,369,669	4,369,669	3,612,669	△ 757,000	

支出の部

(単位:円)

款	項	目	当初予算額	予算現額	決算額	増 △ 減	備 考
運営費			75,620	75,620	3,336	△ 72,284	
	会議費	会議費	0	0	0	0	
	事務費	事務費	75,620	75,620	3,336	△ 72,284	協議会事務用品等 消耗品費 1,496円 郵送料 1,290円 振込手数料 550円
事業費	事業費	事業費	132,660	132,660	55,121	△ 77,539	モビリティ・マネジメントツール作成費 消耗品費 55,121円
納付金	納付金	納付金	4,125,000	4,125,000	3,368,000	△ 757,000	地域内フィーダー系統確保 維持費国庫補助金 ※帯広市へ納付 3,368,000円
計			4,333,280	4,333,280	3,426,457	△ 906,823	

収入額 3,612,669円 ― 支出額 3,426,457円 = 繰越額 186,212円

会 計 監 査 報 告 書

令和7年度帯広市地域公共交通活性化協議会の会計について、
関係帳簿及び収入・支出証書の監査を行った結果、その処理が
いずれも適正であることを認めます。

令和8年6月12日

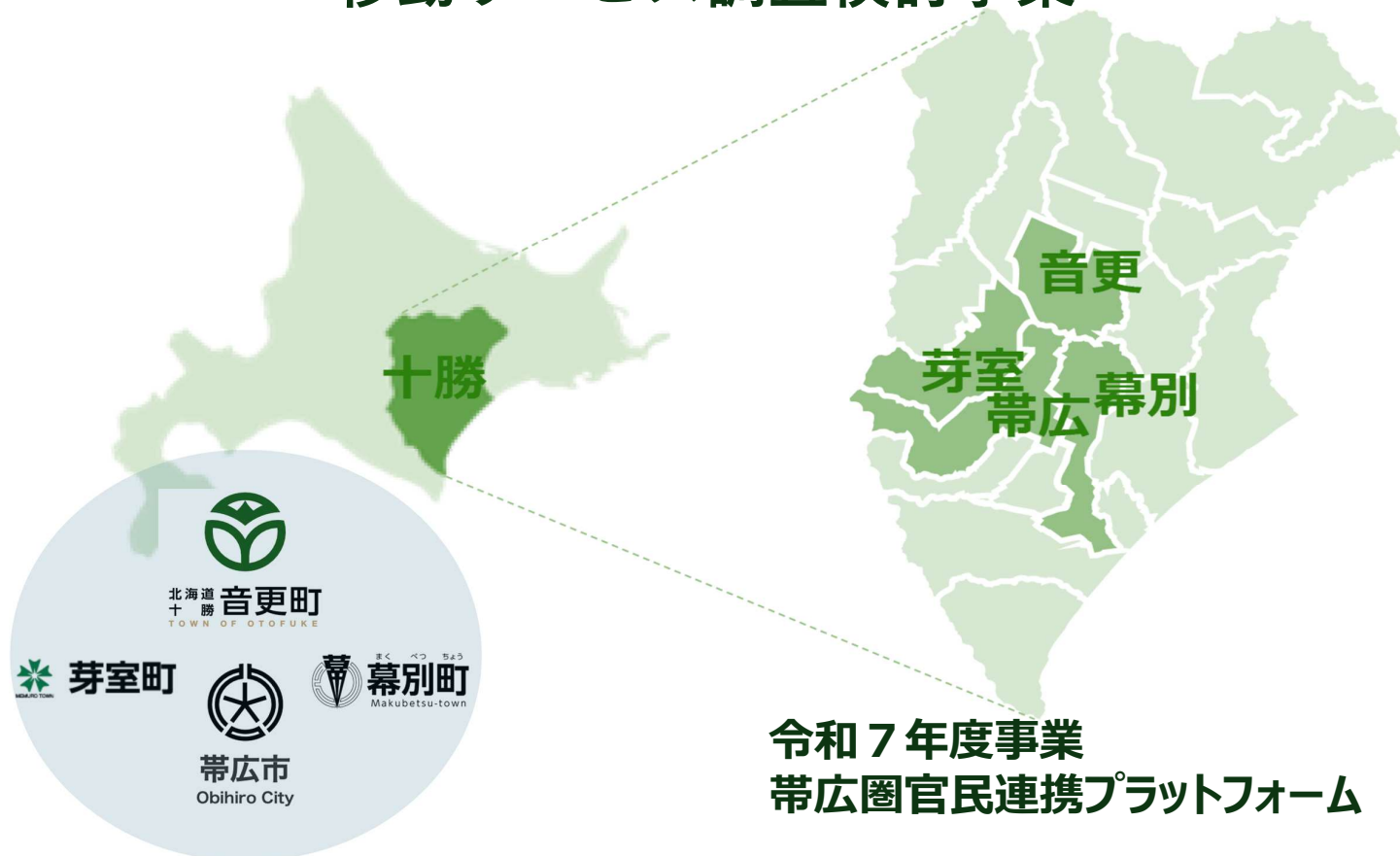
監査委員 北海道十勝総合振興局 地域創生部

地域政策課 課長 牧村 匠太郎



帯広圏における公共交通と医療連携による

移動サービス調査検討事業



令和7年度事業
帯広圏官民連携プラットフォーム

【事業目的】

- ・帯広圏の市町の境界を越えた利便性の高い、持続可能な交通サービスの実現
- ・地域住民の健康増進と生活の質確保のため、医療機関へのアクセス性の向上
- ・地域の多様な主体が参加する帯広圏官民連携プラットフォームを通じて、人的・資金的な側面から地域生活圏の持続可能性を高める。

【現状・課題】

- ・帯広圏は十勝の中核として経済・交通・医療機能が集積し、農畜産業の堅調さを背景に地域の活力と人口減少の緩やかさを一定維持している。
- ・今後も活力と生活サービスを維持するには、市町界を越えた「利便性が高く持続可能な公共交通」の実現が不可欠。
- ・1市3町でデジタル化推進構想を策定済みで、地域生活圏形成に向けたの土台がある。
- ・帯広市内の主要医療機関への公共交通の利便性が相対的に低く、住民の時間的・経済的負担が発生している。
- ・運転士不足でバスの減便が行われており、医療アクセスの改善と同時に、地域公共交通そのものの持続性確保（運行体制の維持）も検討が必要。

【実施体制】

帯広圏官民連携プラットフォーム

地方公共団体

帯広市、音更町、芽室町、幕別町、北海道

バス

十勝地区バス協会
十勝バス株式会社
北海道拓殖バス株式会社
毎日交通株式会社
おびうん観光株式会社

タクシー

十勝地区ハイヤー協会
株式会社ミライズグループ
大正交通有限会社
音更タクシー有限会社

総合商社

三菱商事株式会社

鉄道・バス

北海道旅客鉄道株式会社
西日本鉄道株式会社

知見提供

外部有識者

九州MaaS協議会
ジョルダン株式会社
エム・エス・ケー農協機械株式会社

委託

報告

調査事業者

ネクスト・モビリティ株式会社

【調査概要】

調査業務のスコープと分析対象

令和7年度

令和8年度～

各種データの整理と分析

医療機関・交通事業者等ヒアリング
帯広協栄病院、帯広徳洲会病院、公立芽室病院、十勝の杜病院、帯広厚生病院、帯広第一病院、帯広医師会、帯広市健康福祉課
北海道拓殖バス、十勝バス、十勝地区ハイヤー協会、大正交通、毎日交通、おびうん観光、TKタクシー

住民アンケート
回答数：3,541

人流データ
4市町の人流データ
期間：2024/10～2025/9
対象トランプ数：64.5万/日

交通データ
北海道拓殖バスODデータ
大正交通乗合あいのりタクシーODデータ
毎日交通あいのりバスODデータ
まりもハイヤー乗降データ

オープンデータ
2020年度国勢調査（人口分布）
バス路線図
国土数値情報
（バスルート2022年、バス停留所2022年、医療機関2021年）

公共交通の課題特定

通院移動や日常生活の移動を元に課題を特定

交通の改善

・既存交通の交通改善案
・新交通の導入も含めた改善方策

交通再編の段階的实施

既存交通の改善と交通体系の再編で提示した改善方策を複数年で段階実施
実施後に観測を行い継続的改善を実施

他分野連携・事業組成・実施

他分野連携検討

医療・MaaS分野含め、他分野連携による持続可能な交通体制構築の検討

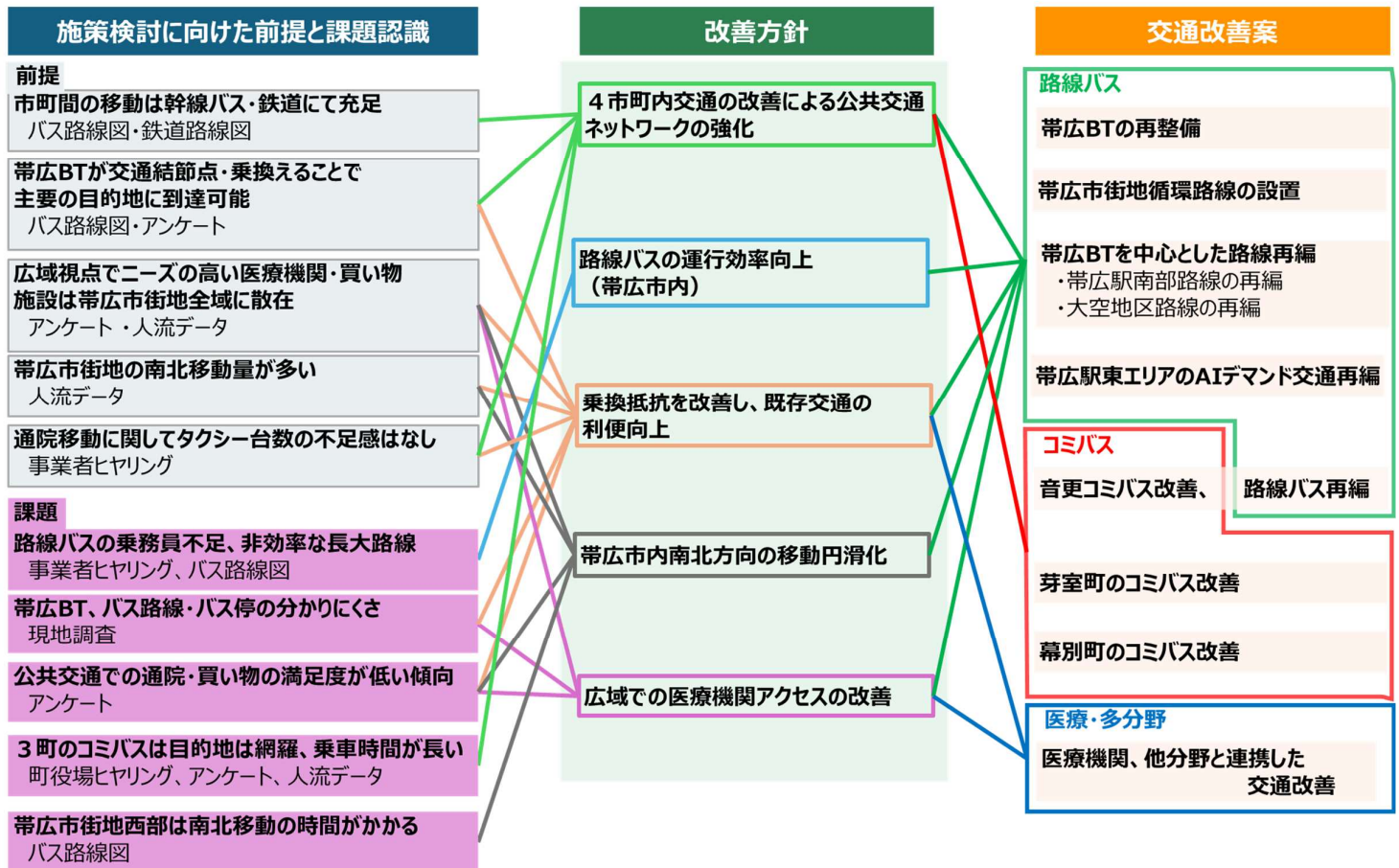
実施スケジュール概要

	10月	11月	12月	1月
ヒアリング				
アンケート				
会合	10/28★	11/26★	12/23★	1/30★
次年度体制検討				

別途、9/25にキックオフ会議を実施

【調査検討結果概要】

調査結果による、施策検討の前提と課題、プラットフォームの会合の議論による、既存サービスの改善や新しい交通サービス導入の方針、交通改善案は、以下の通り。



【帯広市の交通課題と改善案】

課題

①帯広バスターミナルのわかりにくさ。②人流データより南北の移動ニーズが確認できたが、バス路線は東西に運行しており移動実態とかい離がある。③十勝バス本社を起点とする長大路線が多く非効率な運行となっている。④東エリアのバス利用が少ない傾向にある。

改善案

①帯広バスターミナルのわかりやすさ向上の観点から、方面別に乗場の整理する。②循環路線による単純化で利用しやすさの向上を図る。③非効率な長大路線に対応するため、帯広駅で終結する形での短系統の設定。短系統設置のためのバス待機場の確保。④東エリアにおけるデマンド交通の導入の検討、大空地区路線の見直し。



【音更町の交通課題と改善案】

課題

コミバスに関しては、車両の老朽化、便数、運行時間帯、乗車時間に加え、道の駅おとふけまでの移動ニーズがある。このため、ニーズに対応した運行ルートの見直しが必要となっている。

路線バスでは、木野市街において、拓殖バスと十勝バスが重複して運行しており、時間帯によっては同時に運行している便も見られる。

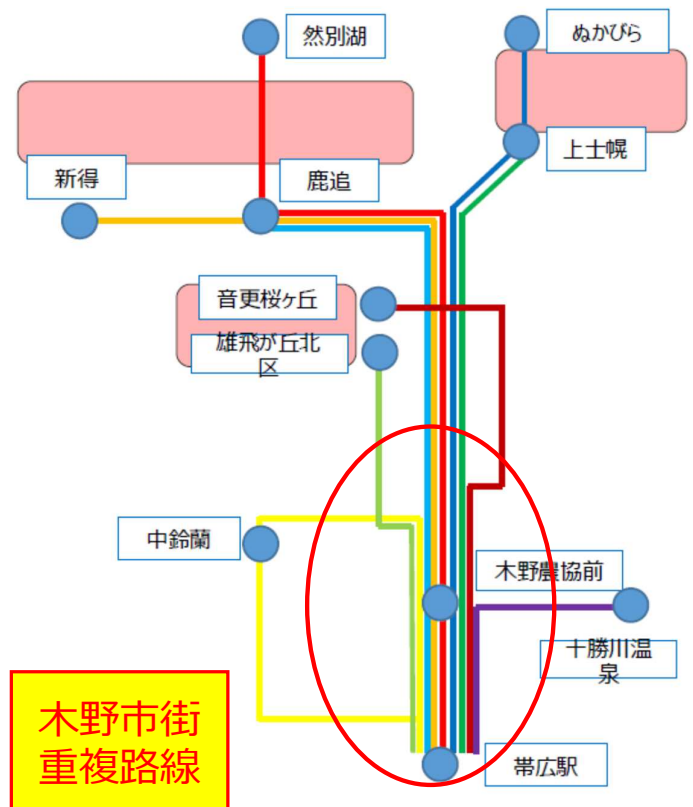
なお、コミバスエリアについて、人流データの結果から移動実態との、かい離は見られなかった。

改善案

コミバスの乗降調査・分析により改善余地を検討していく。

帯広市の医療機関や商業施設へのアクセスは、バス路線等が一定確保されていることから、コミバスによる直接アクセスは慎重な検討が必要。コミバスと路線バスの接続性の改善を検討。

木野市街における、拓殖バスと十勝バスの重複路線のダイヤ見直しを検討する。



【芽室町の交通課題と改善案】

課題

「東部農村地域における交通空白」、「コミバスの利便性」、「持続可能な協働体制の構築」が挙げられる。

コミバスに関しては、車両の老朽化、便数、運行時間帯に加え、利用実態に応じた停留所の配置が課題となっている。

改善案

町内の短距離移動が多く生活圏がコンパクトである等の条件を踏まえ、AIデマンド交通の導入により利便性向上の可能性が高い。これにより、医療機関へのアクセス向上、JR路線や路線バスとの接続の円滑化、帯広市内の医療機関や商業施設へのアクセス向上を図るとともに、採算性を含めて検討する。

芽室町潜在需要シミュレーション

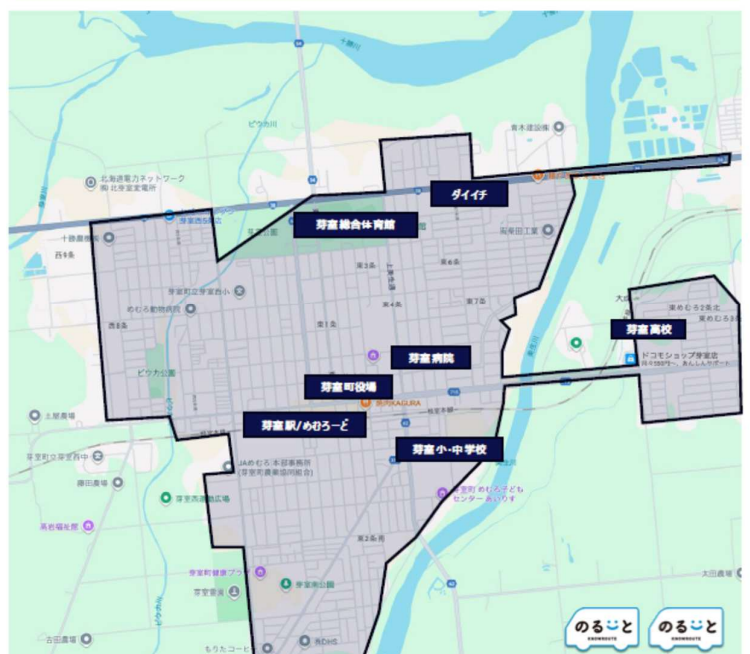
- エリア対象人口：14,000人
- サービス登録率：25%（地方25%～都心50%）
- 初回利用率：50%（固定50%）
- 直近利用率：30%（補完25%～第一手段50%）
- 乗車予約 1回あたり同乗客数：1.1
- 月当たり乗車回数：4回

日当たり77人

想定輸送カシミュレーション

【前提条件】 ・1回の乗車時間：8分 ・乗降時間：1分 ・稼働率：40% ・乗合率：25% ・1予約件数における乗車人数：1.1人	シフト稼働時間	乗合組数	想定輸送人員
	2台運行10時間稼働/台	なし	66.0人/日
		2組*1	82.5人/日
		3組*2	90.8人/日

運行エリア



【幕別町の交通課題と改善案】

課題

「交通空白地域の存在」、「公共交通の効率性」が挙げられる。

コミバスに関しては、利用者から**運行ルート変更の要望**があることに加え、**路線の複雑さ**、**持続可能な財政負担(採算性の確保)**、**利便性の向上**が課題となっている。

また、農村部を運行している乗合タクシーについては、**昼間出発便の運行**など、改善の見込みがある。

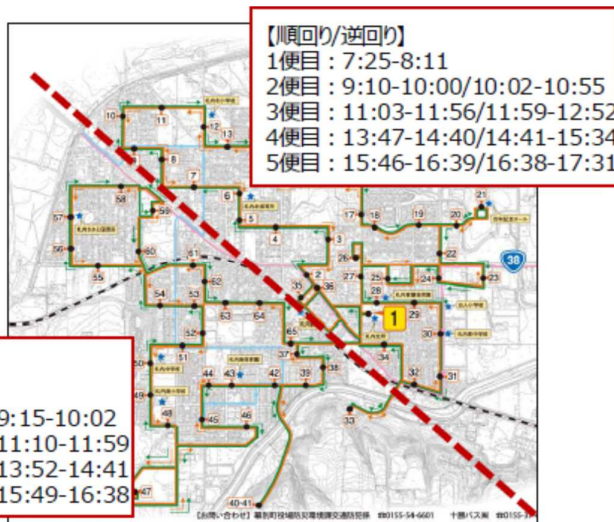
改善案

コミバス運行について**乗降データ**を取得し、調査・分析を進めた上で、**ダイヤ改正**および**路線バスとの接続性**を検討していく。

高齢者無料化により利用者が増加傾向にある状況を踏まえ、**AIデマンド交通の導入**は慎重に検討する。

忠類地区から大樹町方面への移動需要について検討を進める。

帯広市医療機関や商業施設へのアクセスは、これまで通り、JR路線、路線バス乗り継ぎ、タクシー利用とし、コミバスによる直接アクセスは慎重な検討が必要。



【医療機関・多分野と連携した交通改善】

医療機関のヒアリング結果から、「**オンライン診療や訪問診療の限界**」、「**広大な通院エリア**」、「**既存の公共交通サービスの限界**」が挙げられる。

高齢者の利用が多い傾向にあることから、送迎を行う医療機関の利用者や、公共交通の利用者が一定程度存在する。公共交通の利用においては、受診後に**ダイヤが合わない**といった問題があるほか、冬季は**転倒リスク**が高まるため、**ドアtoドアのニーズ**に応えることが重要となる。

これらの課題解決策として**AIデマンド交通の導入**が考えられるが、利用者が限られることから**採算性に課題**がある。そのため、**他分野との連携による持続可能性**を検討する必要がある。

今後は、交通再編(循環路線バス等)の進捗に合わせ、**交通×医療**、**交通×農業**、**交通×リテイル**、**交通×観光**等の実現可能性・妥当性を整理し、段階的に具体化を検討する。

交通×医療×健康 (循環路線バス・オンデマンド送迎)

ステップ①<路線バス×循環バス>



ステップ②<AIデマンド交通×病院送迎>



交通×リテイル (商業施設連携)



交通×農業 (フードロス解消連携)



交通×観光 (マルチモーダル検索/ジョルダン)

日常から観光まで使える機能充実！



令和 8 年度 帯広圏公共交通再編事業の取組概要

帯広市地域公共交通活性化協議会 報告資料

1 事業の位置づけ

- 本事業は、令和 7 年度「地域生活圏形成リーディング事業」の成果を土台とし、バス路線・コミュニティバスの見直しを進めるとともに、自治体・事業者が自ら再編を検討・実行できる体制づくりと人材育成を一体的に進めるもの。
- 昨年度の検討で整理した各市町の交通課題・改善案（帯広市の循環路線・短系統化、3 町のコミュニティバスのダイヤ・ルート見直し、路線バスとの接続性改善、AI デマンド交通の検討等）をゼロベースで見直すのではなく、これを前提に検討を深める点が今年度の特徴。

2 事業の概要

国の補助金「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトを活用し、関係自治体とバス事業者が連携した協議会を事業主体として実施。

項目	内容
事業名	帯広圏域公共交通再編体制構築事業
活用補助金	「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト (モビリティ人材・組織育成タイプ／定額補助)
事業主体	帯広圏官民連携プラットフォームバス検討協議会
構成員	【自治体】帯広市・音更町・芽室町・幕別町 【交通事業者】十勝バス株式会社・北海道拓殖バス株式会社
オブザーバー	北海道十勝総合振興局・帯広運輸支局 ※検討内容に応じ、活性化協議会メンバーに会合参加を依頼予定
業務委託先	ネクスト・モビリティ株式会社（再委託先：西日本鉄道株式会社）
事業期間（補助事業）	～令和 9 年 2 月 26 日（完了）

- 協議会の構成員は上記 6 者で固定。ただし、検討の段階や議題に応じて、地域公共交通活性化協議会のメンバーにオブザーバーとして会合への参加を依頼する場合がある。
- バス路線・コミュニティバスに加え、タクシー・乗合タクシー、鉄道を含めた多様な交通モードの連携が再編検討に想定されるため。

3 今年度の主な取組

「協議会による路線再編の検討」と「人材育成」を車の両輪として一体的に推進。補助メニューの性質上、人材育成が前面に出やすいが、今年度の中心は協議会による具体的なバス路線・コミュニティバスの再編検討に置く。

(1) 協議会による路線・コミュニティバスの再編検討

昨年度に整理した各市町の課題・改善案を踏まえ、帯広圏の生活実態に即して「3 町のコミュニティバス → 帯広市への路線バス → 帯広市内での移動」という流れを全体として捉え、優先順位を付けて検討。

- 3 町のコミュニティバスのダイヤ見直し・運行効率化と、帯広市方面への路線バスとの接続性向上
- 帯広市内に到着した後の移動のしやすさの確保、帯広市内路線の効率化
- OD データ・GIS を活用した交通空白地域の特定と移動需要構造の分析
- 事業者ヒアリングによる現場実態（乗務員不足・減便実績・採算路線等）の把握
- 複数の再編案を比較・協議し、令和 9 年度以降の再編着手につなげる

(2) データ活用・再編に向けた人材育成

次年度以降、自治体・事業者が自立的に再編を検討・実行できるよう、実践的なスキルとノウハウの習得を支援。

- OD データの取得・集計・分析手法の実践習得（職員が実際に手を動かす）
- 日本最大規模のバス事業者である西日本鉄道の現場視察による先進事例の習得
- 交通政策に精通した学識者によるセミナーの開催
- 次年度以降、自治体・事業者が自走できる体制の構築

4 年間スケジュール

会合は概ね月 1 回開催を予定。人材育成事業は、以下のとおり 3 つのフェーズに分けて進行。

時期	フェーズ	主な内容
6～8 月	①現状把握・データ分析	・ OD データの取得・集計・分析 ・ GIS による可視化、交通空白地域の特定 ・ 事業者ヒアリング（現場制約の把握） ・ 課題の構造的整理
9～11 月	②施策立案・計画策定	・ 再編の考え方の整理 ・ 西日本鉄道の現場視察、有識者からの知見共有 ・ 複数の再編案の協議・比較 ・ 施策の優先順位付け
12～1 月	③計画確定・報告	・ 再編案の実現可能性の検討 ・ 交通網計画の策定 ・ 令和 9 年度の再編着手に向けた事業者最終調整

※ 補助事業は 2 月末までだが、3 月以降も次年度に向けた検討を継続。

施策1-(1) 公共交通の運行効率化及び利便性向上

施策2-(1) 乗継利便の向上

施策2-(2) 乗継拠点となる交通結節点の検討

■ 帯広圏1市3町における公共交通の検討

- ・ 帯広圏官民連携プラットフォームバス検討協議会等において、市内公共交通網の再編や利便性向上等を検討・協議

施策1-(2) 運転手確保対策

■ 合同就職相談会・職場見学会・バス運転体験会の実施

- ・ 十勝地区バス協会、十勝圏二次交通活性化推進協議会及び北海道において、バス・タクシー会社による合同就職相談会、バス運転体験会及びバス・タクシー運転者職場見学会を実施

■ 退官予定自衛官向け合同運転体験会の実施

- ・ 帯広運輸支局において、バス・トラックの運転手不足解消に向けて、退官予定の自衛官を対象とした合同運転体験会及びバス・タクシー等運輸業者による就職説明会を実施

■ 「ビズロケとかち」を活用した企業情報発信

- ・ 帯広市が運営する就職マッチングシステム「ビズロケとかち」において、バス事業者の企業情報を発信

施策1-(3) 収支改善に向けた取組

■ 原木シイタケの販売

- ・ 北海道拓殖バス株式会社において、路線バス維持の収益確保を目的として、自社で生産したシイタケを路線バスで輸送し、帯広駅バスターミナルで販売

施策2-(3) バス路線沿線の施設等における待合スペースの設置

■ 市内イオン系列スーパーに待合図スペースを設置

- ・ ザ・ビッグイーストモール店に待合スペースを設置

施策3-(2) MaaSや自動運転など新たなモビリティサービスの検討

■ 自動運転実証調査事業の実施

- ・ 将来的な自動運転車両の導入可能性を検証するため、自動運転運行実証を実施

施策4-(1) 出前講座の実施

■ 市内小学校等での出前講座の実施

- ・ 市内小学校を対象とした出前講座を実施（計23回）

施策4-(2) モビリティ・マネジメントの実施

■ 中高生・転入者及び高齢者向けMMパンフレットの配布

- ・ 公共交通の利用方法などバス利用を促す内容のMMパンフレットを作成し、市内中学3年生及び高校1・2年生、転入者、高齢者に向けて配布

施策4-(3) ノーカーデーの推進

■ ノーカーデーの実施・推進

- ・ 帯広市において、第1、第3金曜日を「ノーカーデー」としてマイカー通勤の自粛・公共交通の利用促進の取組を推進

施策4-(4) 農村地区デマンド交通の利用促進

■ 説明会の開催

- ・ あいのりタクシー説明会を大正地区にて開催

帯広市地域公共交通計画 進捗状況評価

《進捗状況・評価》

- 路線バス運行事業者における経常費用（人件費、燃料費等）の増加に伴い路線バスの収支率は悪化し、路線維持費補助金額は増加した。
- 待合施設の設置を依頼しザ・ビッグ イーストモール店にバス待合所を設置し目標を達成した。
- 路線バス及びあいのりタクシー・バスの利用者数は目標を達成している一方で前年度比は減少、高齢者無料乗車証の利用者数は目標未達成かつ前年度比も減少の状況。
- 主に市内小学生向けに出前講座を実施し、ノーカーデー参加者数も目標値を上回った。
※令和7年度よりノーカーデーが月1回から月2回に変更。

⇒ 引き続き、路線バスの運行効率化及び路線網の最適化に向けた検討を進めるとともに、利用者増加につながる利便性向上や利用促進に向けた取組を一層推進していく必要がある。

《評価指標実績値》

評価指標			基準値 (R4)		R5	R6	R7	R8	R9
基本方針１ 公共交通サービスの確保									
(1)帯広市バス生活路線維持費補助金額	127,816千円	目標値	127,816千円以下	127,816千円以下	127,816千円以下	127,816千円以下	127,816千円以下	127,816千円以下	
		実績値	179,442千円	166,692千円	173,935千円				
(2)市内運行路線における路線バスの収支率	51.5%	目標値	52.5%	53.5%	54.5%	55.5%	56.5%		
		実績値	47.8%	46.0%	45.1%				
基本方針２ 乗継・待合環境の充実									
(3)バス路線沿線における新規待合施設設置箇所	-	目標値	-	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
		実績値	-	10箇所	1箇所				
基本方針３ 公共交通の使いやすさの向上									
(4)市内運行路線における路線バス年間利用者数	2,937,228人	目標値	2,975,656人	3,014,084人	3,052,512人	3,090,940人	3,129,368人		
		実績値	3,084,972人	3,090,112人	3,066,868人				
基本方針４ 公共交通の利用につながる環境づくり									
(5)出前講座実施回数	20回	目標値	21回	22回	23回	24回	25回		
		実績値	24回	30回	23回				
(6)高齢者おでかけサポートバス事業の年間利用者数	749,792人	目標値	765,388人	780,984人	796,580人	812,176人	827,772人		
		実績値	757,780人	743,057人	730,253人				
(7)ノーカーデー年間参加者数	5,312人	目標値	5,312人以上	5,312人以上	5,312人以上	5,312人以上	5,312人以上		
		実績値	6,813人	6,125人	10,090人				
(8)あいのりタクシー・バスの年間利用者数	10,754人	目標値	10,946人	11,138人	11,330人	11,522人	11,714人		
		実績値	11,011人	11,743人	11,658人				

令和 8 年度 事業計画（案）

1 おびひろバスマップの増刷

路線バスに関する情報提供の充実、及び公共交通への理解や関心を高めることを目的として令和 5 年度に作成した「おびひろバスマップ」の残数が少なくなったため増刷する。

2 モビリティ・マネジメント施策の展開

自発的な公共交通利用を促すモビリティ・マネジメントの取組として、中高生・転入者及び高齢者に向けたモビリティ・マネジメントツールの配布を継続実施する。

3 協議会の開催

- 令和 8 年 6 月 3 0 日（今回協議） 第 1 回協議会
《協議事項》
令和 7 年度事業報告、令和 8 年度事業計画案 等
- 令和 8 年 1 月（書面開催予定） 第 2 回協議会
《協議事項》
地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の事業評価 等

※必要に応じて別途協議会を開催予定

令和8年度 帯広市地域公共交通計画 主な取組について（案）

【取組の方向性】

- ・ 市内公共交通網の再編及び利便性向上に向けた検討・取組を重点的に実施
- ・ 交通事業者をはじめとする関係機関と連携した運転手確保の取組を支援
- ・ 公共交通の利用促進に向けた取組の改善及び継続実施

【取り組む施策のイメージ（案）】

基本方針 1 公共交通サービスの確保

■ 市内公共交通網の再編検討

- ・ 帯広圏官民連携プラットフォームバス検討協議会等での協議・検討を実施

■ 運転手確保の取組支援

- ・ 交通事業者や国・北海道など関係機関が実施する運転手確保の取り組みの周知、協力
- ・ 交通事業者における「ビズロケとかち」などの情報発信サイトの活用促進及び発信情報の周知

■ 収支改善の取組実施

- ・ 交通事業者における収支改善策の実施

基本方針 2 乗継・待合環境の充実

■ 乗継利便向上の検討

- ・ 帯広圏官民連携プラットフォームバス検討協議会等で協議・検討を実施

■ 待合スペース設置の検討・実施

- ・ 商業施設・医療機関等への待合施設の設置検討・実施

基本方針 3 公共交通の使いやすさの向上

■ デジタルを活用した情報発信の改善・実施

- ・ バスロケーションシステム、SNS等を活用した遅延・運休情報や、動画配信サイトでのバス利用動画発信・改善
- ・ 電子決済、デジタル乗車券/定期券の拡充・改善を検討

基本方針 4 公共交通の利用につながる環境づくり

■ 出前講座・MM・ノーカーデーの改善・継続実施

- ・ これまで継続実施してきた出前講座、モビリティマネジメント(MM)及びノーカーデーの取組内容の改善を図りながら、継続的に実施

■ あいのりタクシー・バスの周知・利用促進

- ・ 運行事業者と連携しながら、あいのりタクシー・バスの周知及び利用促進を実施
- ・ あいのり利用を通じた高齢者の見守りや安心して利用できる環境づくりに向けて、福祉部門と連携した取り組みを検討

令和8年度 収支予算書(案)

収入の部

(単位:円)

款	項	目	前年度予算額	本年度予算額	増 △ 減	備 考
負担金	負担金	負担金	0	570,900	570,900	バス事業者負担金 380,700円 常広市負担金 190,200円
諸収入	雑入	雑入	244,669	186,212	△ 58,457	前年度繰越金 186,212円
補助金	補助金	補助金	4,125,000	4,125,000	0	地域内フィーダー系統確保 維持費国庫補助金 4,125,000円
計			4,369,669	4,882,112	512,443	

※おびひろバスマップ増刷の事業費分を負担金として徴取。その他の費用は繰越金で対応。

支出の部

(単位:円)

款	項	目	前年度予算額	本年度予算額	増 △ 減	備 考
運営費			75,620	69,112	△ 6,508	
	会議費	会議費	0	0	0	
	事務費	事務費	75,620	69,112	△ 6,508	協議会事務用品等 消耗品費 58,492円 郵送料 6,000円 振込手数料 4,620円
事業費	事業費	事業費	132,660	688,000	555,340	モビリティ・マネジメントツール作成費 消耗品費 117,100円 おびひろバスマップ増刷費 委託料 570,900円
納付金	納付金	納付金	4,125,000	4,125,000	0	地域内フィーダー系統確保 維持費国庫補助金 ※常広市へ納付 4,125,000円
計			4,333,280	4,882,112	548,832	

令和8年6月 日

(名称) 帯広市地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

帯広市の公共交通機関は、市街地においては、十勝バス株式会社及び北海道拓殖バス株式会社が路線バスを運行しており、通学や通院、買物等で利用する学生や高齢者などにとって重要な交通機関となっている。農村部においては、帯広市の委託により大正交通有限会社が予約式デマンド型交通である大正地区乗合タクシー（大正地区内巡回便、帯広市街地便）を、毎日交通株式会社が同じく川西地区乗合バス（八千代線、戸蔭線）を運行しており、定時定路線の路線バスが存在しない農村部において、市街地と農村部を結ぶ移動手段として、生活に欠かせない公共交通機関となっている。

農村部の予約式デマンド型交通は、自家用車を運転しない高齢者や通学利用の中学生を中心に地域の公共交通として浸透しているが、広大な運行区域をカバーするため運行経費が営業収益を大きく上回っている。また、利用者数は導入以降2倍以上に増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅に減少しており、令和3年度から令和7年度にかけては回復の兆しがみられるものの、コロナ前と比べ低調に推移している。

これまで、インターネットによる予約システムの導入や帯広厚生病院移転に合わせた移転後の病院への運行経路延伸、帯広駅バスターミナル内へのバス停留所設置などの利用促進策を実施してきているほか、感染症により減少した利用の回復に向けて、地域の会合の場における事業周知や意見交換、アンケート調査を行うなど利用ニーズの把握に努めている。

今後においても、地域住民の買物や通院などの日常生活の移動確保や地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援などを図るため、地域公共交通確保維持事業により、帯広市内における生活交通手段を維持確保しつつ、収支改善に向けた利用者数増加の取組を進めながら、住民の生活の足としての公共交通を維持していく必要がある。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

地域公共交通確保維持事業の実施にあたり、以下の目標を設定する。

【目標1】大正地区乗合タクシー（帯広市街地便）の年間利用者数

- ・令和9年度 利用者数 1,867人（1便あたり2.0人）
- ・令和10年度 利用者数 1,915人（1便あたり2.0人）
- ・令和11年度 利用者数 1,963人（1便あたり2.1人）

※地域の高齢者が参加する会合等においてニーズ調査や利用方法等の周知などの利用促進策による利用者増加を図ることで、令和7運行年度(R6.10～R7.9)を基準として、年間利用者数が毎年延べ48人（毎月2回利用する利用者2人分）ずつ増加することを想定し目標値として設定するもの。

※R7運行年度利用者数 1,819人（1便あたり1.9人）

【目標2】大正地区乗合タクシー（大正地区内巡回便）の年間利用者数

- ・令和9年度 利用者数 678人（1便あたり1.3人）
- ・令和10年度 利用者数 726人（1便あたり1.4人）
- ・令和11年度 利用者数 774人（1便あたり1.5人）

※目標1と同様の理由により、目標1と同内容の目標値を設定するもの。

※R7運行年度利用者 630人（1便あたり1.2人）

【目標3】川西地区乗合バス（八千代線）の年間利用者数

- ・令和9年度 利用者数 5,231人（1便あたり3.3人）
- ・令和10年度 利用者数 5,279人（1便あたり3.3人）
- ・令和11年度 利用者数 5,327人（1便あたり3.3人）

※目標1と同様の理由により、目標1と同内容の目標値を設定するもの。

※R7運行年度利用者数 5,183人（1便あたり3.2人）

【目標4】川西地区乗合バス（戸蔭線）の年間利用者数

- ・令和9年度 利用者数 4,156人（1便あたり3.8人）
- ・令和10年度 利用者数 4,204人（1便あたり3.9人）
- ・令和11年度 利用者数 4,252人（1便あたり3.9人）

※目標1と同様の理由により、目標1と同内容の目標値を設定するもの。

※R7運行年度利用者数 4,108人（1便あたり3.8人）

(2) 事業の効果	
・大正地区乗合タクシー（帯広市街地便・大正地区内巡回便）及び川西地区乗合バス（八千代線・戸蔭線）を維持することにより、農村地区における学生の通学や高齢者等の通院、買物などの日常生活に必要な移動手段が確保される。 ・また、これらの路線と地域間幹線系統との接続により、地域住民の広域的な移動を支援することができ、外出促進にもつながる。	
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体	
・高齢者をはじめとする利用者のニーズ調査（帯広市、運行事業者） ・インターネットによる予約システムの周知及び利用促進（帯広市、運行事業者）	
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者	
表1を添付	
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額	
帯広市から運行事業者へ支払う委託料については、運行経費分から運行収益分を差し引いた額を支払うこととしている。総額：30,777千円（昨年度実績より概算） （内訳）大正交通有限会社：16,633千円 毎日交通株式会社：14,144千円 （負担者）帯広市：26,652千円（昨年度実績より概算）	
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法	
大正交通有限会社・毎日交通株式会社からの資料提供に基づき測定。	
7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】	
※該当なし	
8. 別表1の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】	
※該当なし	
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】	
※該当なし	
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】	
表5を添付	
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
※該当なし	
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
(1) 事業の目標	
※該当なし	

(2) 事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
18. 協議会の開催状況と主な議論
・ 令和7年10月20日（令和7年度第3回） ○北海道拓殖バスが運行する乗合バスの運賃改定に係る意見募集の実施について ・ 令和8年1月15日（令和7年度第4回） ○地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の事業評価について ・ 令和8年6月30日（令和8年度第1回） ○地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

19. 利用者等の意見の反映状況

協議会には各種団体から利用者及び住民を代表する委員が参画しており、会議を実施のうえ計画を作成した。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 北海道帯広市西5条南7丁目1番地

(所 属) 帯広市都市環境部都市建築室都市政策課

(氏 名) 主任補 森 壮大

(電 話) 0155-65-4176

(e-mail) city_plan@city.obihiro.hokkaido.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

都道府県名		市区町村名	協議会名		申請 番号	市区町村名	運送予定者名	主たる業態	(申請番号)運行系統名等	運行系統			往	復	計画運行 日数	計画運行回 数	利便増進 特別措置	運送継続 特別措置	運行態様 の別	地域内フィーダー系統の基準適合(別表7・別表9・別表10)			
北海道		帯広市	帯広市地域公共交通活性化協議 会							起点	経由地	終点								補助開始年度	基準ハで該当 する要件(別表 7・9)	補助対象地域間幹線系統等と接続の確保 (7の6)	基準ホで該当 する要件(別表 7の6)
									(1) 帯広市街地便						245.0日	923.0回			区域型	① 幹線接続	停車場「帯広駅バスターミナル」におけるJR帯広駅及び地域間幹線系統バス停「帯広駅バスターミナル(十勝バス・北海道拓殖バス)」との接続	③ 前年度から引き続き運行	
									(2) 大正地区内巡回便						297.0日	406.0回			区域型	① 幹線接続	地域間幹線系統「広尾線」のバス停「大正本町(十勝バス)」との接続	③ 前年度から引き続き運行	
									(3) 八千代線						244.0日	1,583.0回			区域型	① 幹線接続	停車場「帯広駅バスターミナル」におけるJR帯広駅及び地域間幹線系統バス停「帯広駅バスターミナル(十勝バス・北海道拓殖バス)」との接続	③ 前年度から引き続き運行	
									(4) 戸島線						244.0日	1,083.0回			区域型	① 幹線接続	停車場「帯広駅バスターミナル」におけるJR帯広駅及び地域間幹線系統バス停「帯広駅バスターミナル(十勝バス・北海道拓殖バス)」との接続	③ 前年度から引き続き運行	

年度
令和 9 年度

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

都道府県名	市区町村名	協議会名	年度
北海道	帯広市	帯広市地域公共交通活性化協議会	令和 9 年度

	人 口
人口集中地区以外(人)	15,210 人
交通不便地域等(人)	人

交通不便地域等の内訳

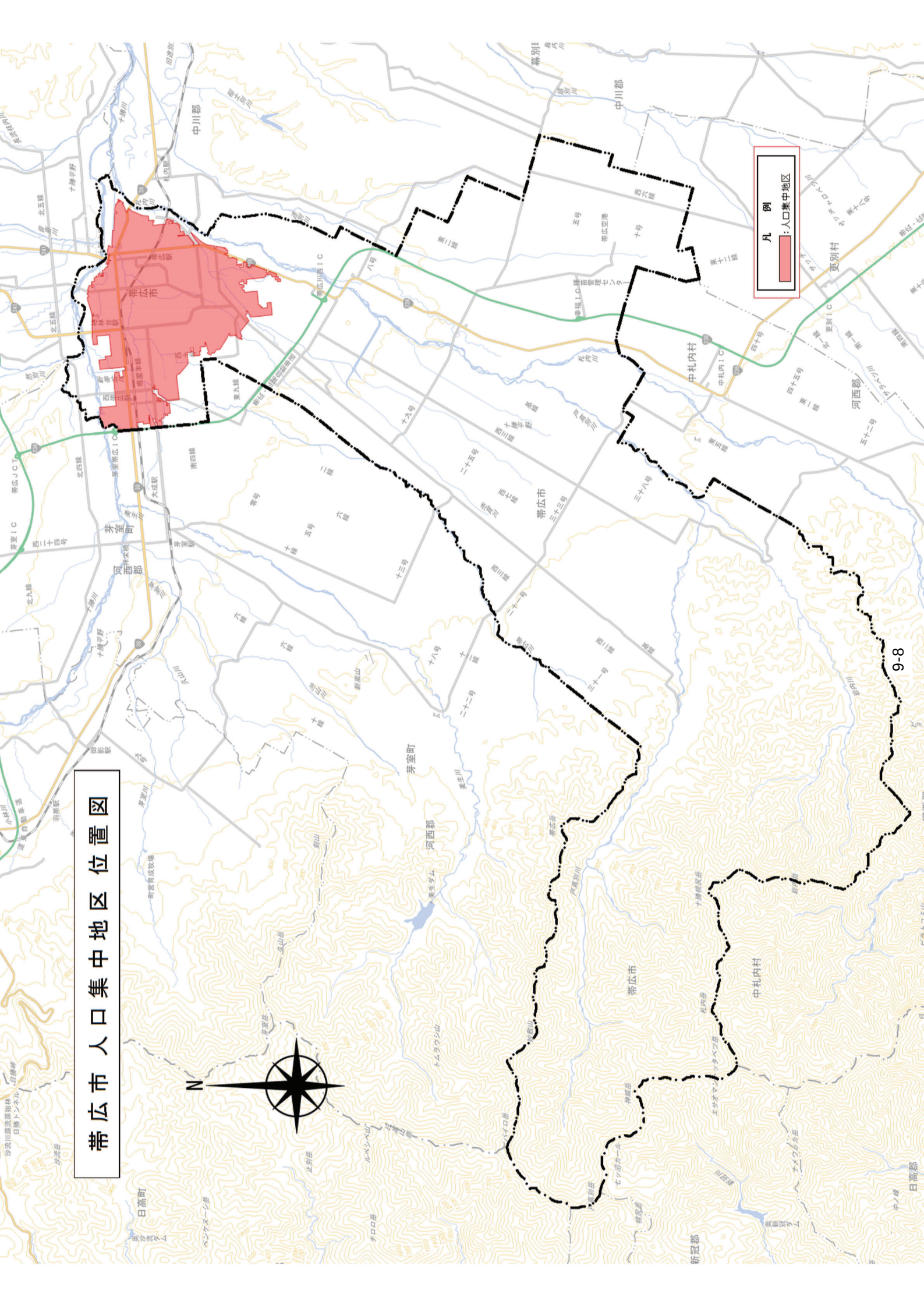
人口(人)	対象地区	根拠法

地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び特例適用開始年度

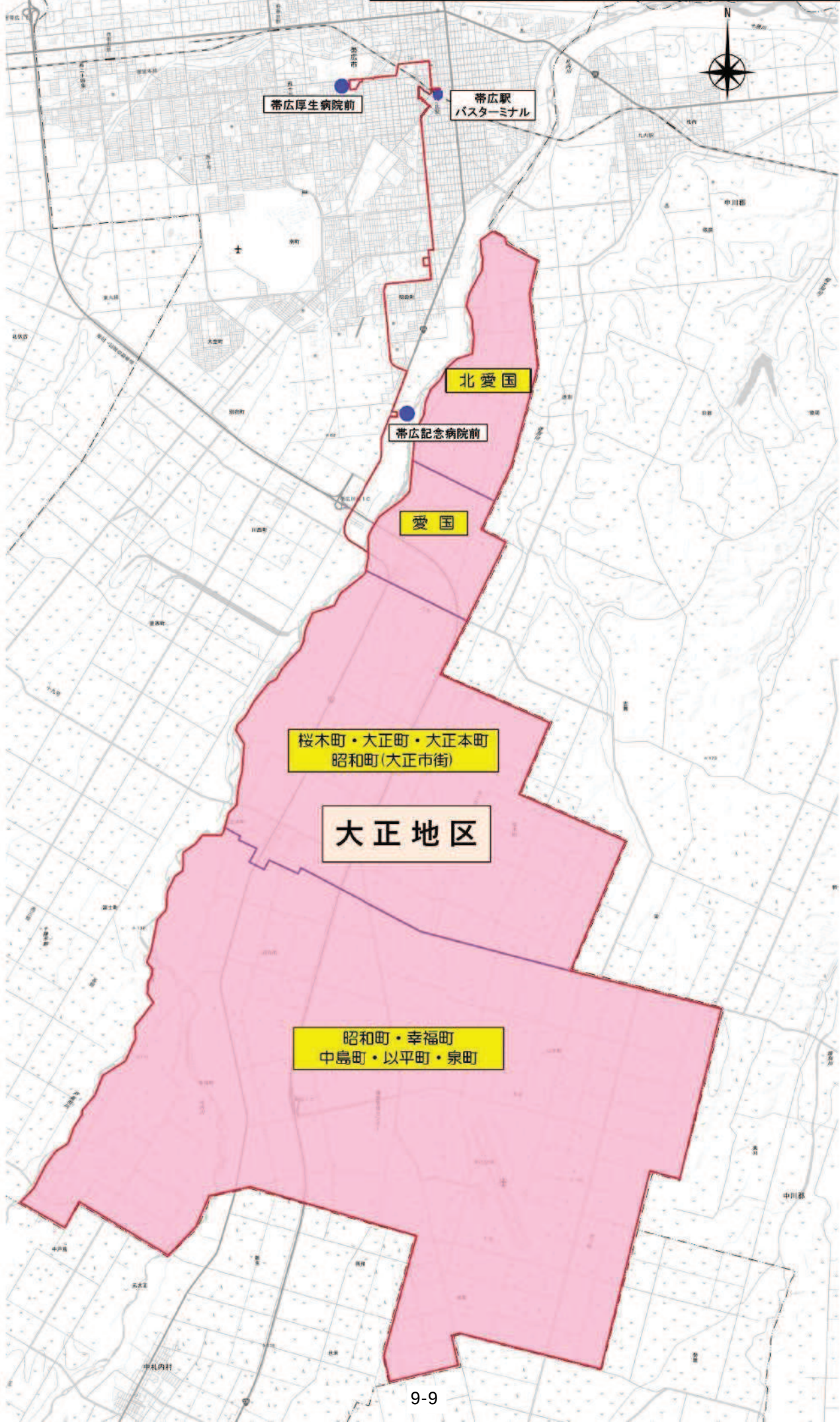
計画名	策定年月日	特例適用開始年度

帯広市人口集中地区位置図

凡 例
：人口集中地区



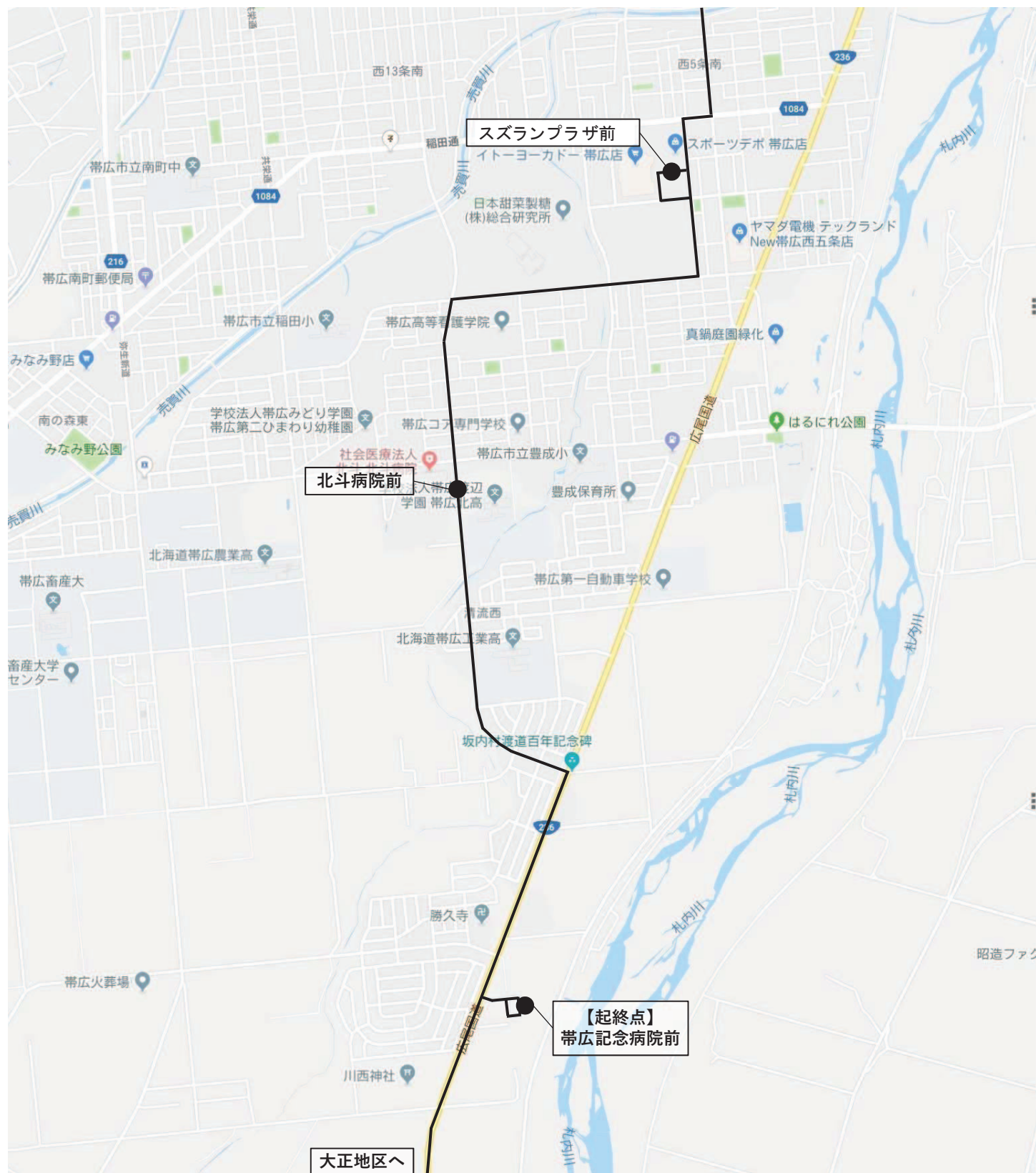
帯広市街地便・大正地区内巡回便 運行区域図



路線図『帯広市街地便』 No. 1



路線図『帯広市街地便』No. 2

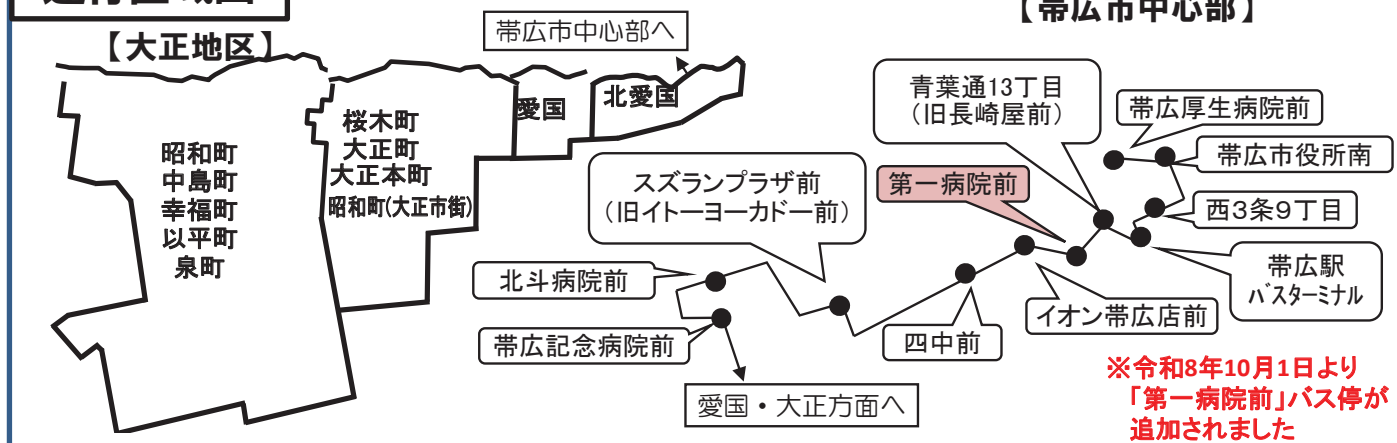


大正

あいのりタクシー

～あいのりタクシーは予約制の乗り合いジャンボタクシーです～

運行区域図



《ご利用方法》

① 電話で予約します



幸福町の〇〇です。8:45発の便で、自宅から北斗病院まで行きたいのですが。

※「乗る場所」と「目的地」を伝えます
※インターネットからも予約できます

② オペレーターが受け付けます

登録番号10番の〇〇さんですね。
わかりました、9:00頃にご自宅まで待っててください。

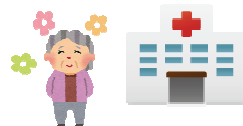


③ 乗車場所まで迎えにきます



※帯広市中心部は乗車場所が決まっています

④ 目的地までお送りします



※帯広市中心部は降車場所が決まっています
※乗り合いのため遠回りすることもあります

■お電話での予約は、バスの出発45分前までにお願いします。

※ただし、大正8時00分発の便をご利用の場合は、
前日の19時30分までに予約してください。

■インターネットからの予約も可能です。

インターネット予約は、前日の18:00までにお願いします。

予約ページURL: <https://taisho.obihiro-ainori.jp/>



予約ページ
QRコード

運賃
(大人)

【帯広市中心部まで】

北愛国 400円

愛国 500円

桜木町
大正町
大正本町
昭和町(大正市街)

700円

泉町
以平町
幸福町
中島町
昭和町

1,000円

【大正地区内】

一律
500円

- 大人運賃は中学生以上【小学生以下は半額、就学前児童は同伴者1名につき1名無料、1歳未満無料】
- 療育手帳、身体障がい者手帳、精神障がい者手帳をお持ちの方及び介護人は半額
- 回数券(11枚綴り)、通学定期券(1ヶ月)の販売を行っています
- 帯広市高齢者バス無料乗車証を使用できます

ご利用予約／大正交通(有) 帯広市大正町基線89番地
電話番号:0800-800-5551(フリーコール)

運行時刻表

【帯広行き】 毎週 月曜日～金曜日 ※土曜日・日曜日・祝日運休

大 正 市 街		8:00	9:30	13:30	16 : 00
愛 国 市 街		8:10	9:40	13:40	16 : 10
降車のみ	帯広記念病院前	8:16	9:46	13:46	16 : 16
	北 斗 病 院 前	8:22	9:52	13:52	16 : 22
	スズランプラザ前 (旧イトーヨーカドー前)	8:26	9:56	13:56	16 : 26
	四 中 前	8:29	9:59	13:59	16 : 29
	イオン帯広店前	8:31	10:01	14:01	16 : 31
	第 一 病 院 前	8:34	10:04	14:04	16:34
	青 葉 通 13 丁 目 (旧 長 崎 屋 前)	8:35	10:05	14:05	16:35
	帯広駅バスターミナル	8:40	10:10	14:10	16:40
	西 3 条 9 丁 目	8:41	10:11	14:11	16:41
	帯広市役所南口	8:45	10:15	14:15	16 : 45
帯広厚生病院前		8:50	10:20	14:20	16 : 50

【大正行き】 毎週 月曜日～金曜日 ※土曜日・日曜日・祝日運休

乗車のみ	帯広厚生病院前	10:20	14:20	16:50
	帯広市役所南口	10:25	14:25	16:55
	西 3 条 9 丁 目	10:30	14:30	17:00
	帯広駅バスターミナル	10:31	14:31	17:01
	青 葉 通 13 丁 目 (旧 長 崎 屋 前)	10:36	14:36	17:06
	第 一 病 院 前	10:37	14:37	17:07
	イオン帯広店前	10:40	14:40	17:10
	四 中 前	10:42	14:42	17:12
	スズランプラザ前 (旧イトーヨーカドー前)	10:45	14:45	17:15
	北 斗 病 院 前	10:49	14:49	17:19
	帯広記念病院前	10:55	14:55	17:25
	愛 国 市 街	11:00	15:00	17:30
	大 正 市 街	11:10	15:10	17:40

【大正地区内】 毎週 月曜日～土曜日 ※日曜日・祝日運休

出 発 時 刻	8:00	11:30	15:00	17:40
	↓	↓	↓	↓
到 着 時 刻	9:30	13:00	16:30	18:40

出発の45分前までに必ず予約をしてください。
 ※ただし、大正8時00分発の便は、前日の19時30分までに予約してください。
 ※インターネットからの予約は、前日の18時までにお問い合わせいたします。
 ※太字箇所について、令和8年10月1日より、ダイヤが変更になりますので、
 ご乗車の際は、ご注意ください。

- 帯広市街地と大正地区を往復する便と、大正地区内を巡回する便があります。
- 大正地区内では、自宅前などどこでも乗り降りができます。（市街地は停留所で乗降）
- 事前に予約が必要です。お電話またはインターネットからご予約ください。
- ご希望の便が満席の場合は、別の便に調整をお願いするか、予約をお断りする場合があります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【あいのりタクシー時刻表の見直しに係るアンケート調査結果】

〈見直しの理由〉

- ① 大正市街から朝の時間帯に利用しやすいよう、始発便を大正市街発にした上で時間帯を見直します。
- ② 買い物施設の開店時間に合いやすいよう、到着時刻を見直します。
- ③ 買い物後に帰宅しやすいよう、復路の時間帯を見直します。
- ④ 午後から外出しやすいよう、発車時刻を見直します。
- ⑤ 通院後に帰宅しやすいよう、発車時刻を見直します。
- ⑥ 地区内便は、1便当たりの対応時間を延長するため、運行全体の調整の中で便数を見直します。
- ⑦ 第一病院前のバス停を新設します。
- ⑧ ⑦により、「第一病院前」到着後の時間が若干変更になります。

【大正→市街地 時刻表】

現在

見直し(案)

大 正 市 街			①8：45	④12：45	16：00
愛 国 市 街		7：15	8：55	12：55	16：10
降車のみ	帯広記念病院前	7：31	9：01	13：01	16：16
	北 斗 病 院 前	7：37	9：07	13：07	16：22
	スズランプラザ前 (旧イトーヨーカドー前)	7：41	②9：11	13：11	16：26
	四 中 前	7：44	9：14	13：14	16：29
	イオン帯広店前	7：46	9：16	13：16	16：31
	青葉通13丁目 (旧長崎屋前)	7：49	9：19	13：19	16：34
	帯広駅バスターミナル	7：54	9：24	13：24	16：39
	西 3 条 9 丁 目	7：55	9：25	13：25	16：40
	帯広市役所南口	8：00	9：30	13：30	16：45
	帯広厚生病院前	8：05	9：35	13：35	16：50

大 正 市 街		①8:00	9:30	④13:30	16:00
愛 国 市 街		8:10	9:40	13:40	16:10
降車のみ	帯広記念病院前	8:16	9:46	13:46	16:16
	北 斗 病 院 前	8:22	9:52	13:52	16:22
	スズランプラザ前 (旧イトーヨーカドー前)	8:26	②9:56	13:56	16:26
	四 中 前	8:29	9:59	13:59	16:29
	イオン帯広店前	8:31	10:01	14:01	16:31
	第一病院前	⑦8:34	10:04	14:04	16:34
	青葉通13丁目 (旧長崎屋前)	⑧8:35	10:05	14:05	16:35
	帯広駅バスターミナル	8:40	10:10	14:10	16:40
	西3条9丁目	8:41	10:11	14:11	16:41
帯広市役所南口		8:45	10:15	14:15	16:45
帯広厚生病院前		▼8:50	10:20	14:20	16:50

太字変更部分

【市街地→大正 時刻表】

現在

見直し(案)

乗車のみ	帯広厚生病院前	9:35	⑤13:35	16:50
	帯広市役所南口	9:40	13:40	16:55
	西 3 条 9 丁 目	9:45	13:45	17:00
	帯広駅バスターミナル	9:46	13:46	17:01
	青葉通13丁目 (旧長崎屋前)	9:51	13:51	17:06
	イオン帯広店前	9:54	13:54	17:09
	四 中 前	9:56	13:56	17:11
	スズランプラザ前 (旧イトーヨーカドー前)	③9:59	13:59	17:14
	北 斗 病 院 前	10:03	14:03	17:18
	帯広記念病院前	10:09	14:09	17:22
	愛 国 市 街	10:15	14:15	17:30
	大 正 市 街	10:25	14:25	17:40

乗車のみ	帯広厚生病院前	10:20	⑤14:20	16:50
	帯広市役所南口	10:25	14:25	16:55
	西 3 条 9 丁 目	10:30	14:30	17:00
	帯広駅バスターミナル	10:31	14:31	17:01
	青葉通13丁目 (旧長崎屋前)	10:36	14:36	17:06
	第一病院前	⑦10:37	14:37	17:07
	イオン帯広店前	⑧10:40	14:40	17:10
	四 中 前	10:42	14:42	17:12
	スズランプラザ前 (旧イトーヨーカドー前)	10:45③	14:45	17:15
	北 斗 病 院 前	10:49	14:49	17:19
	帯広記念病院前	▼10:55	14:55	17:25
	愛 国 市 街	11:00	15:00	17:30
	大 正 市 街	11:10	15:10	17:40

※ 帯広～大正便運行日 毎週 月曜日～金曜日 ※土曜日・日曜日・祝日運休

太字変更部分

【大正地区内便】

現在

見直し(案)

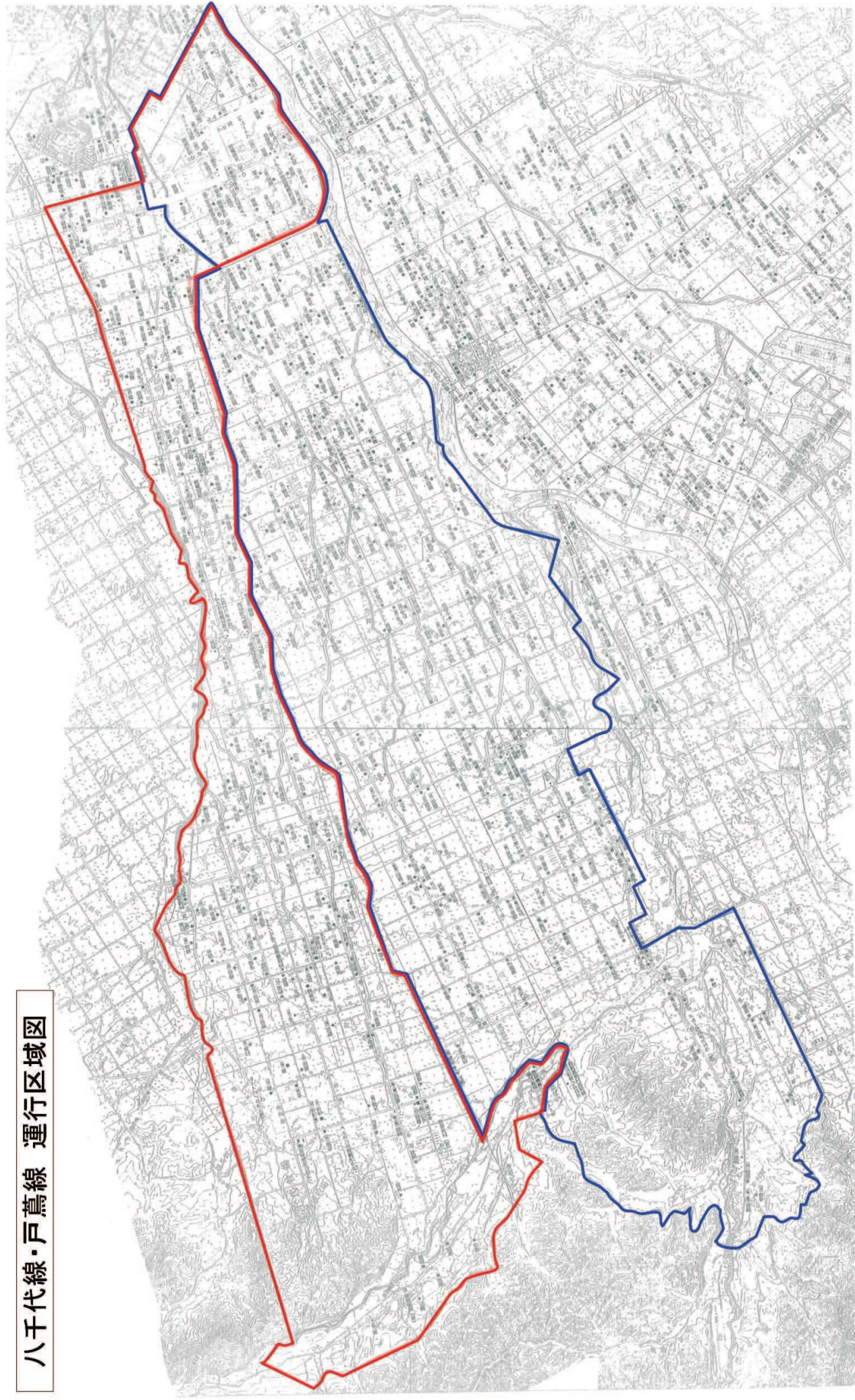
出 発 時 刻	8:00	11:30	14:25	16:30	17:40
	}	}	}	}	}
到 着 時 刻	9:00	12:30	15:25	17:30	18:40

出 発 時 刻	8:00	11:30	15:00	17:40
	⑥ }	}	}	}
到 着 時 刻	9:30	13:00	16:30	18:40

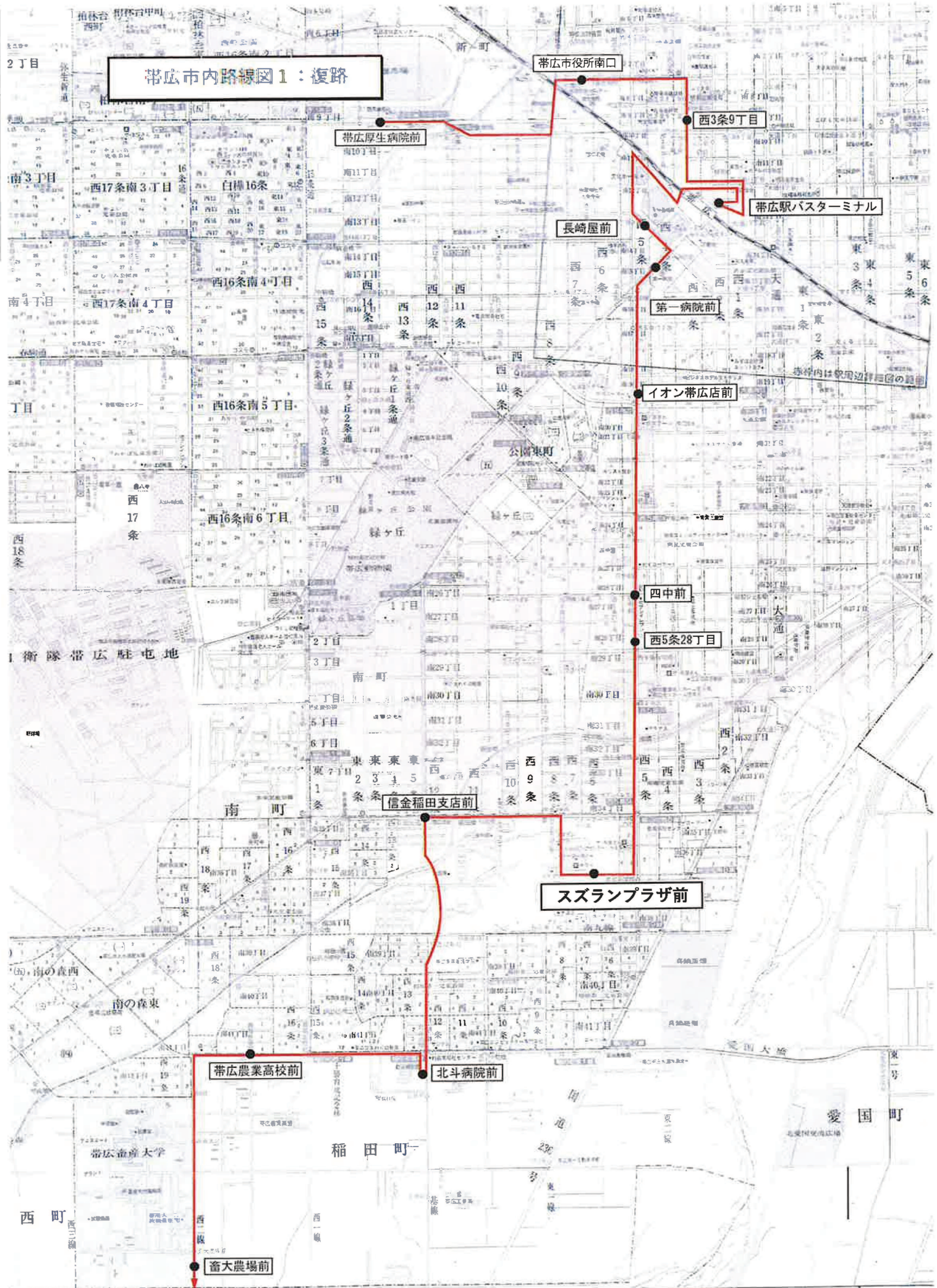
太字変更部分

※ 大正地区内便運行日 毎週 月曜日～土曜日 ※日曜日・祝日運休

八千代線・戸蔦線 運行区域図



八千代地区
戸蔦地区



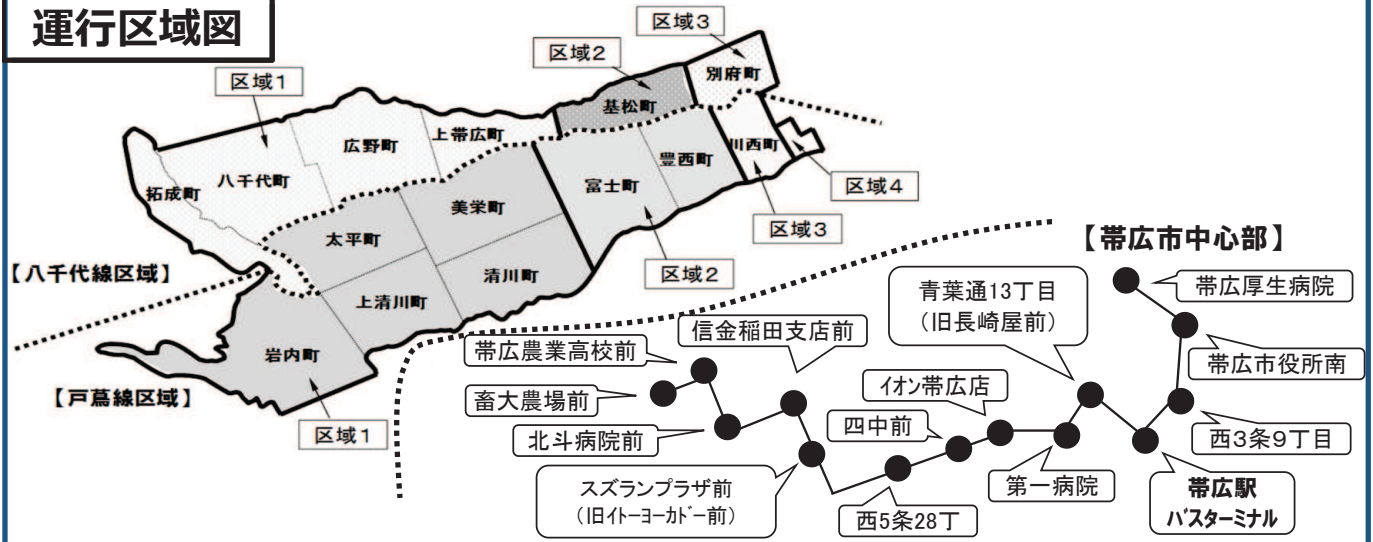
川西

あいのりバス



～あいのりバスは予約制の乗り合いバスです～

運行区域図



《ご利用方法》

① 電話で予約します



富士町の〇〇です。9:20発の便で、自宅から北斗病院まで行きたいのですが。

※「乗る場所」と「目的地」を伝えます

② オペレーターが受け付けます

登録番号10番の〇〇さんですね。わかりました、9:30頃にご自宅まで待っていてください。



③ 乗車場所まで迎えにきます



※帯広市中心部は乗車場所が決まっています

④ 目的地までお送りします



※帯広市中心部は降車場所が決まっています

■午前の便(6:30発、9:20発/8:10発、10:50発)をご利用の場合は前日の18:30までに、午後の便(16:05発/14:00発、17:20発)をご利用の場合はバスの出発の60分前までに電話で予約してください。

■インターネットからの予約も可能です。前日の18:00までに予約してください。
予約ページURL: <https://mainichi.obihiro-ainori.jp/>



予約ページQRコード

口運賃 戸蔭線「しらかば号」・八千代線「ポロシリ号」

	区域1	区域2	区域3	区域4
帯広市中心部まで	1,000円	700円	500円	400円
他区域まで	500円	500円	500円	500円
同一区域内	300円	300円	300円 (3.4区域内)	300円 (3.4区域内)

- 大人運賃は中学生以上【小学生以下は半額、就学前児童は同伴者1名につき1名無料、1歳未満無料】
- 療育手帳、身体障がい者手帳、精神障がい者手帳をお持ちの方及び介護人は半額
- 回数券(11枚綴り)、通学定期券(1ヶ月)の販売を行っています
- 帯広市高齢者バス無料乗車証を使用できます

運行時刻表

■毎週 月～金曜日運行(土・日・祝日、年末年始(12/31～1/3)は運休)

【八千代地区・戸蔭地区発】

予 約 受 付 時 間	前 日 18:30まで		当 日 15:05まで
八千代・戸蔭発	6:30	9:20	16:05
川 西 支 所 前	7:30	10:10	16:40
新 川 西	7:31	10:11	16:41
畜 大 農 場 前	7:35	10:15	16:45
帯広農業高校前	7:36	10:16	16:46
北 斗 病 院 前	7:37	10:17	16:47
信金稲田支店前	7:40	10:20	16:50
スズランプラザ前 (旧イトーヨーカドー前)	7:45	10:25	16:55
西 5 条 28 丁 目	7:49	10:29	16:59
四 中 前	7:50	10:30	17:00
イオン帯広店前	7:53	10:33	17:03
第 一 病 院 前	7:56	10:36	17:06
青 葉 通 13 丁 目 (旧長崎屋前)	7:57	10:37	17:07
帯広駅バスターミナル	8:01	10:41	17:11
西 3 条 9 丁 目	-	10:43	17:13
帯広市役所南口	-	10:45	17:15
帯広厚生病院前	8:10	10:50	17:20

降車のみ

【厚生病院前発】

予 約 受 付 時 間	前 日 18:30まで		当 日 13:00まで	当 日 16:20まで
帯広厚生病院前	8:10	10:50	14:00	17:20
帯広市役所南口	-	10:57	14:07	17:27
西 3 条 9 丁 目	-	10:59	14:09	17:29
帯広駅バスターミナル	8:19	11:02	14:12	17:32
青 葉 通 13 丁 目 (旧長崎屋前)	8:23	11:07	14:16	17:36
第 一 病 院 前	8:24	11:08	14:17	17:37
イオン帯広店前	8:27	11:11	14:20	17:40
四 中 前	8:30	11:14	14:23	17:43
西 5 条 28 丁 目	8:31	11:15	14:24	17:44
スズランプラザ前 (旧イトーヨーカドー前)	8:35	11:21	14:30	17:50
信金稲田支店前	8:40	11:25	14:34	17:54
北 斗 病 院 前	8:43	11:29	14:38	17:58
帯広農業高校前	8:44	11:30	14:39	17:59
畜 大 農 場 前	8:45	11:31	14:40	18:00
新 川 西	8:49	11:34	14:44	18:04
川 西 支 所 前	8:50	11:35	14:45	18:05
川 西 中 学 校	-	-	-	18:15
八千代・戸蔭着	9:20	12:05	15:35	19:00

乗車のみ

バスの発車時間によって予約受付時間が異なります。
午後の便をご利用の場合は前日の18時の30分までに電話で予約してください。
※インターネットからの予約は、前日の18時までにお問い合わせいたします。

ご希望の便が満席の場合は、別の便に調整をお願いするか、予約をお断りする場合があります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ご利用予約／毎日交通(株) 帯広市川西町基線24番地13
電話番号:0120-999-094(フリーコール)